

～使命の追求～

2014年10月10日発行 10月号 No. 236

◇国土交通省 関東運輸局 自動車交通部長
奈良 和美

国土交通省関東運輸局自動車交通部の奈良と申します。

平素より東京都トラック協会ロジスティクス研究会の皆様には国土交通行政各般にわたりご協力ご理解を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、私たち関東運輸局自動車交通部は、物流・貨物自動車運送に係る施策を実行する現場機関であります。昨年4月の着任以来、特に重要だと感じたのは、日頃の許認可や監査を適正に行うという役割に加え、政策の実効性を担保していくという役割、また逆に、現場の知見を政策にフィードバックしていくという役割です。特に昨年度は運送契約の書面化をはじめとした適正取引の確保に力を入れて取り組んだ年であり、試行錯誤しながら、どうすれば普及・定着し、実際の取引の適正化に役立てて頂けるのかと考えておりました。こうした中で、東ト協ロジ研の皆様との意見交換を通じトラック事業者の皆さまが本音でどのように考えているか、またその実態を伺うことが出来る機会は行政を進めていく上で大変貴重なものとなっております。

運転手不足、安全運行、燃料費高騰、環境対策・・・トラック業界を取り巻く課題は大きくまた難しく、特効薬はないかもしれませんが、ロジ研の活動を通じて私ども行政も一緒に真剣に考えていきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



そのきっかけとなったものがわれわれが普段目にする新聞紙上での隠語であった事には参加者からも思わず『へえ～』と声が出る内容のお話でした。また、野田元総理についてはTPPや景気回復（すでに野田政権から景気回復の兆しはあった）また、本人が非常に苦労人であることからアメリカでは非常に高く評価されているとの事でした。そのほか尖閣問題、中国・韓国との今後の外交、オバマ大統領の来日に関する裏話、原油価格の実情等ご紹介したい話は尽きないのですがオンオフの区別がつきにくいものばかりですので話はここまでとさせていただきます。

川村先生におかれましては講演後、大学に戻って論文作成があるにもかかわらず、交流会に最後までお付き合いいただき講演中でも話せなかった裏話をお話くださいました。参加された方々におかれましては、講演会・交流会と非常に有意義な時間を過ごす事が出来たのではないのでしょうか。今回参加できなかった会員の皆様も次回は是非ロジ研主催のオープンセミナーに足を運んでいただければと思います。

◇「(一社)愛知県トラック協会主催『トラックと交通安全・環境フェア』に参加して」

副本部長・広報副委員長

武井 一憲〔文京支部 (有) 武井物流〕

現在、運輸安全委員会では、事故防止大会を今後どのような形にしたら良いかを検討をする為、「事故防止大会の有り方検討小委員会」が発足いたしました。この小委員会には我がロジ研から山田広報委員長、大島物流政策委員長、伏見研修委員長の3名が特別委員として参加をしており、私も支部の運輸安全委員の立場で参加をしております。

今後の事故防止大会の在り方を検討する材料の一つとして、先週の10月5日(日)に、愛知県トラック協会主催のイベントへ視察に行っていました。

本来であれば視察をした感想などを広報委員としてご報告するべきところですが、今回は紙面構成の関係上、来月号でのご報告とさせていただきます。

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 10/20(月) 15:00～正副本部長会議(東ト6階中)
- 10/22(水) 12:00～会長意見交換会(東ト2階)
- 15:00～運輸局等との勉強会(全ト3階)
- 11/14(金) 16:00～第2回オープンセミナー(全ト3階)
- 同懇親会(東ト4階)
- 11/21(金)～24(月) 温故創新セミナー・海外視察
- 11/26(水) 16:00～本部連絡会(東ト4階)

◇「第1回オープンセミナー」

副本部長・研修委員長

伏見 健次〔台東支部 上野運送(株)〕

9月10日(水) 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授の川村亨夫先生による『最新の国際情勢と日本経済の行方』と題したテーマでロジ研第1回オープンセミナーを開催いたしました。

先生は毎年7月・8月の2ヶ月間、英オックスフォード大学大学院の訪問教授をされている方で非常に多忙なスケジュールの中、松本副本部長達へのお願いを快く引き受けていただき今回の開催にいたしました。



先生は政界に精通されている方〔講師：川村亨夫氏〕で、オフレコの話をも巧みに織り交ぜながら国際情勢から国内にいたる安倍政権の現状などをお話くださいました。

様々な事柄に対するお話は内情に迫ったお話で常に驚かされる内容のものばかりでした。興味深い内容の話は枚挙にいとまがないのですが、オフレコの話が多く、ここでお話できるものをいくつかご紹介いたしましょう。

まずは北朝鮮による日本人拉致問題ですが、これは残念ながら期待していたほどの結果が得られないのではと。第二次安倍内閣組閣に関してはトラップに引っかかった元幹事長のお話。